

予想平均気温による構造体強度補正值 ($_{28}S_{91}$) の適用期間表

■2022年改訂 JASS 5 鉄筋コンクリート工事

山形地方気象台観測の1991年～2020年の日平均気温による。

構造体強度補正值 $_{m}S_n$ は、特記による。特記のない場合はmを28日、nを91日とし、下記表より、セメントの種類およびコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲に応じて定める。

構造体強度補正值 $_{28}S_{91}$ の標準値

セメントの種類	コンクリートの打込みから28日までの期間の予想平均気温 θ の範囲(°C)	
早強ポルトランドセメント	$5 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 5$
普通ポルトランドセメント	$8 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 8$
高炉セメントB種	$13 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 13$
構造体強度補正值 $_{28}S_{91}$ (N/mm ²)	3	6

セメントの種類	コンクリートの打込みから28日までの期間の予想平均気温 θ の範囲(°C)			
早強ポルトランドセメント	$5 \leq \theta$	3月8日～7月19日 7月20日～8月22日(注 ¹) 8月23日～11月15日	$0 \leq \theta < 5$	11月16日～12月29日 12月30日～1月23日(注 ²) 1月24日～3月7日
普通ポルトランドセメント	$8 \leq \theta$	3月23日～7月19日 7月20日～8月22日(注 ¹) 8月23日～10月30日	$0 \leq \theta < 8$	10月31日～12月29日 12月30日～1月23日(注 ²) 1月24日～3月22日
高炉セメントB種	$13 \leq \theta$	4月14日～7月19日 7月20日～8月22日(注 ¹) 8月23日～10月7日	$0 \leq \theta < 13$	10月8日～12月29日 12月30日～1月23日(注 ²) 1月24日～4月13日
構造体強度補正值 $_{28}S_{91}$ (N/mm ²)		3		6

(注¹) 暑中期間における構造体強度補正值 $_{28}S_{91}$ は6N/mm²とする。

(注²) 通常は、打込み後28日間の予想平均気温として、気象統計資料をもとにした外気温の平均値を用いるが、保温養生が計画される場合には、その期間の気温に変えて、保温養生期間に予定する養生温度を用いることができる。

寒中コンクリート及び暑中コンクリート工事の適用期間表

	適用条件	適用期間
寒中コンクリート工事	打ち込み日を含む旬の日平均気温が4°C以下の期間	11月21日～3月31日
暑中コンクリート工事	日平均気温の10年間(2013～2022年)の日別平滑値が25.0°Cを超える期間	7月20日～8月22日